



TWEET

「兄弟の子そだて」

私には3歳と1歳の子どもがいます。上の子は約3年半の自宅保育を終え、親子ともども待ちに待った幼稚園に入園しました。

それまでの生活は、私にとってとてもとても大変なものでした。自分で言うのもなんですが、子どもを産む前はあまり怒らないほうでした。ですが、2人目を出産して24時間2人の子どもと向き合っていると毎日怒りの感情が沸いていました。自分の中にこんなドス黒い感情があったなんて、子どもを産む前の自分からは考えられないことです。それだけ日々の生活に余裕が無さ過ぎました。

上の子は一言で言うとやんちゃで、外出すると勝手にどこかに消えてしまふし、手を繋いでくれない、危ないことを注意しても聞かないのでひととき目を離せませんでした。かといって、お家で過ごしていると、兄弟でおもちゃの取り合いをしたり叩き合いをしたり、家の中はしっちゃかめっちゃか。兄は赤ちゃん返りもありわざと悪いことをして、その度に私は怒りつづけていました。こんなこと思いたくないのですが、なぜ2歳差で産んでしまったんだろうと何度思ったことか...。幼稚園入園してからのほうが良かったのかな...と、今更正解がないことを思っていました。何歳差で産んだとしてもそれぞれ大変なのに。

とにかく手が足りないのです。外に出れば、抱っこ紐に下の子をいれたまま上の子を追いかけ回し、家の中では兄弟で喧嘩して泣き声が響き渡る。泣き声を聞いているだけでしんどくなる日々。

心に余裕が無くなってしまい、自分の子は可愛いはずなのに全く可愛いと思えない状態になっていました。そしてそんなこと思ってしまう自分を日々責めていました。

家の中にいると息が詰まってしまい、このままではダメだと、1日中外出することにしました。

その時の毎日のルーティンは午前中に公園へ行き、お弁当を食べ、午後はそのまま車に乗ってぐるんぱに行くという流れができていました。

朝9時に家を出て、帰ってくるのは16時30分。子どもは充実しているようで、怒る回数も格段に減り、体力的にクタクタではありましたが精神的には楽になりました。「こんな密な生活が送れるのも幼稚園入園するまでだ、頑張ろう」と自分を鼓舞しながら毎日を過ごしていました。そんな生活を続けて3ヶ月、無理をしすぎたのか数日間原因不明の高熱が続き倒れてしまいました。

やっと回復してまず思ったのは、自分のしんどい気持ちに蓋をして、子どもたちのために毎日を全力で過ごしていたけれど、私が倒れてしまったら終わりだなと。

親になるとどうしても自分を犠牲にして子どもの為にと思ってしまうのですが、まずは親である自分を大切にすることで子どもにも余裕をもって向き合えることに気がきました。

それからは生活スタイルを少し変え、午前中は外出しますが、午後は家に帰り子どもたちのお昼寝。お昼寝の時間だよと一言声をかけて私は横になって休息します。以前の私なら「早く寝なさい！」とすぐ怒っていましたが、自然に寝るまでほっておくことにしました。寝ても寝なくてもいいやーという軽い気持ちで。良い意味で適当に過ごすことにしたのです。

そんな日々を過ごして、親子ともども待ちに待った幼稚園に入園しました。

ほっとしたのも束の間、上の子にビシバシと鍛えられた下の子はとても強い子に育ち、イヤイヤ期真っ只中です。今までの育児で培った経験でゆとりのある心を持って対応しています...と言いたいところですが、現実には1歳児と同じ土俵にたつてつい怒ってしまうことも。ですが毎日怒る日々だった時のように気を張り詰めすぎず、適度に手を抜くことを覚えたので、これからは『適当』に子育てを楽しむことを目標に頑張るぞ！

PN なるたっきー

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！